

わくわく園だより (コドモン用) 2023年5月19日 (金) No.6 文責: 牧野

三つの「あ」を大切に
 ◎ あいさつで人を大切に
 ◎ あとかたづけで物を大切に
 ◎ あんぜんで命を大切に

安全で命を大切に【命を守る教育】



《防火教室・避難訓練》5月15日 (月)

「学校やこども園が火事になることはほとんどない？」

長い教員生活で、昔の木造校舎の時代は別にして、学校が火事になったという話は聞いたことはありません。(中学校のトイレでのボヤ騒ぎはありますが) それなのに毎月避難訓練をします。子どもたちに「避難訓練なんか、しなくてもいいんじゃないの？」と言うと、4歳の女の子が大きな声で「ダメ〜！」と叫びました。その後、何人か続いて「ダメだよ！」と言いだしたのです。「どうして？」と

聞くと「だって、死んじゃうもん」と答えました。素早く反応したのは数人だけでしたが、それを聞いてたぶん4歳児さん以上は、そう思ったに違いありません。

それは前段に防火教室があって、消防士さんの話を聞いていたからです。大事なことは、ちゃんと理解しているのだと感心しました。

5月19日 (金) は「交通安全教室」です。子どもたちは、散歩に行くとき、横断歩道に差しかけると「右見て、左見て、また右見て、だいじょうぶ！」と全員で唱えて手を挙げて必ず渡ります。

「もう、ちゃんとできているから交通安全教室なんかやらなくてもいいじゃないの！」と言うと、また「ダメ〜！」と言いました。死んじゃうかもしれないからです。

アフターコロナ・ウイズコロナ ~消毒作業は続けます~



大切なお子さんをお預かりしています。ケガや病気をさせてはいけません。コロナ以外の感染症にもかかります。アレルギーもあります。そうしたことから、子どもたちを守るのが私たちの務めです。ですから手洗いの励行・手指の消毒、保育室の消毒も続けます。遊具の安全点検も毎月しています。これも命を守るためです。

「安全で命を大切に」農園で作物を育てるのも「命の大切さ」を学ぶ活動

食べることも命を守ることです。ですから給食(食育)も命を守る教育です。『命が一番大切』という意識を小さいころから強く持たせることが大切です。言葉だけで理解するのではなく、体験を通して学ぶことが大切です。命を大切にすることは、人を傷つけるようなことはしません。



「死んだらどうなる？」と聞くと、「パパとママが泣く」と答えました。

反対に「どうして、命を大切にしなければならないの？」と聞かれました。

「難しい質問だなあ？園長先生には、もう未来はないけど、みんなにはわくわくする未来が待っているからだよ。」と答えました。

・・・5月22日(月)から28日(金)までの予定・・・

- 22日(月) 歯磨き週間開始 (3~5歳児) スポセンで体力テスト (5歳児)
- 23日(火) 歯科検診 (0~3歳児) 聴力検査 (5歳児)
- 24日(水) 歯科検診 (4・5歳児) 町学校運営協議会 (育友会会長)
- 25日(木) 春の遠足 (雨天決行) お弁当の日
- 26日(金) お誕生会
- *20日(土) 春のロードレース

